

◆ 新型コロナウイルスを巡る衆参予算委員会での主なやりとり

与野党の主張	テーマ	政府側の答弁
帰国者に2週間の自主的な 停留措置を求めているどうか (国民民主党・奥野総一郎 衆院議員)	感染拡大防止策	法令にのっとって、やる べき対策をすべて行う (安倍首相)
隔離・停留について、国の ルールを作るべきではないか (無所属・山井和則衆院議員)	初動対応	人権との絡みがある ので、慎重に検討しな ければならない (加藤厚生労働相)
チャーター機(搭乗費の) 公費負担や指定感染症の指 定は、もっと前倒しできた (山井氏)	経済対策	最大限努力しているつ もりだ (茂木外相)
(経済)下振れリスクにな るかもしれない。国民の生 活を守るために、予備費の 活用は検討できないか (自民党・中西健治参院議員)		事態の進展に応じて必 要があれば予備費の 使用も検討したい (首相)

「水際で食い止めるかど
うかの瀬戸際だ」
国民民主党の奥野総一郎
は、中国湖北省武漢市から
帰国した邦人に2週間の停
留措置をとるよう促した。
無所属の山井和則衆院議員
(同)も「自宅に戻るこ
とを許していいのか。隔離・
停留のルールを作るべき
だ」と訴えた。
30日までに帰国した邦人
416人のうち、413人
は政府が確保した施設に滞
在中だ。しかし、残り3人
は自宅に戻っており、政府
が不要な外出を控えるよう
要請している。
加藤厚生労働相は「人権
との絡みがあるので、慎重
に検討しなければなら
ない」と理解を求めた。安倍
首相は「我々の使命は国民
の命と健康を守り抜いてい

衆参予算委

野党「対応後手に」 政府「最大限努力」

衆参両院の予算委員会が31日に行わ
れた集中審議は、新型コロナウイルス
による肺炎への政府対応に焦点が当た
った。野党は「対応が後手に回って
いる」との懸念を示し、政府側は「最大
限の努力をしている」と反論した。人論
戦の詳報特別面、関連記事1面



参院予算委員会の集中審議で答弁する安倍首相(中央上)(31日午後、国会で) 一源幸正倫撮影

論戦 新型コロナウイルスに集中

機飛ばし、何人が自国に帰
っているのか。全体的こと
を考えて議論してもらいた
い」と語気を強めた。
一方、自民党の中西健治
参院議員は「(新型コロナウイルスが)
経済の下振れリスクになる
かもしれない」として、予
備費の活用を検討するよう
求めた。首相は「事態の進
展に応じて必要があれば使
用も検討したい」と応じた。
この日の集中審議は、首
相主催の「桜を見る会」やカ
ジノを中核とした統合型リ
ゾート(IR)事業の汚職事

件を巡り、野党側が説明が
不十分だとして、与党側
に要求して開催が決まった。
しかし、新型コロナウイルスの感染拡
大に対する懸念が高まって
いることを受け、野党側は
疑惑の追及だけでなく、
質問者全員が新型コロナウイルスの問
題を取り上げた。立憲民主
党幹部は「非常時」で、一連
の疑惑追及に傾注できる状
況ではない」と打ち明ける。

(C)読売新聞社 無断転載・複製禁止。放送、出版等での二次利用の際は
読売新聞知的財産担当 (mail: t-chizai06@yomiuri.com tel:03-6739-6961) まで。